

大阪市大家政 北浦かほる
○中野 迪代

(1) 幼児の行動範囲は成長に伴い屋内から戸外へ広がっていく。戸外空間の第一歩たる庭・バルコニーが幼児の住生活にどのような役割を果たしているかを3DKのアパート及び2DKのテラスハウスについて調べてみた。

(2) 遊び 6カ月で庭・バルコニーへ出ることを強く要求し始め、1才6カ月までに殆んどの子供が室内との間を頻繁に出入りして遊ぶ。庭では砂・ブランコ・すべり台等、空間的広がりを要する遊びが多く、バルコニーよりよく遊ばれる。バルコニーでは「外を見る」という遊びが特徴的である。子供の成長と共に遊びもより広い戸外空間へと広がり、3才以上になると庭でさえあまり遊ばなくなる。

(3) 要求 親と子では子の方が庭を強く要求している。親は実際に庭をもつテラスハウスで約70%が必要性を強く訴え、アパートではそれが40%になって、「近くに遊び場があればよい」というのが50%も現われている。具体的に「庭がなくて不便」の理由としては「安心して遊べる場所や自然との接触がない」というのが高率を占めている。子供は年令が高くなる程、庭を要求する者が多くなる。

(4) 庭・バルコニーは6カ月～3才位までの子供によく使用されているが、現状のバルコニーではその要求を十分に満足しているとはいえない。又、この時期はまだ親の目が必要な時期でもあり、アパートに於ても、何らかの方法で屋内空間と直接つながった「庭」的なスペースが取られるべきだと思ふ。